

8-6 資格・CPD部会

1. 主な活動の記録

(1) 資格・CPD部会の開催

部会開催回数：11回

(2) 資格・CPD部会の組織

資格・CPD部会は、技術者の能力開発と適正な資格制度の確立を目指しており、RCCM資格制度委員会、CPD委員会の2委員会構成されている。RCCM資格制度委員会には自主学習システム専門委員会を設置し、CPD委員会にはCPD推進専門委員会とCPD監査専門委員会を設置して活動を行っている。

(3) 委員会の活動

a) RCCM資格制度委員会

委員会は対面会議+Web併用で10回開催。

① 試験検討WG

国土交通省登録技術者資格の組合せ加点試行業務について、RCCMの位置づけや評価を把握するため、各支部に加点状況の実態調査を依頼し、支部からの要望も含め分析し、令和7年度建コン協「要望と提案」に反映させた。また、すべての都道府県でRCCM資格が入札契約で活用されていることを確認した。

② 更新講習WG

会長講話1コンテンツと講師21名による講演22コンテンツ(うち15コンテンツ更新)を公開した。なお、講師は1名追加した。また、令和6年度で退任する講師3名の後任講師を選任した。

③ 技術者資格対応WG

7施設分野10技術者資格の登録更新を行った。新たに募集のあった5施設分野8技術者資格のうち7技術者資格を新規登録の申請をした。計画調査設計業務「水道」には登録されたが、点検診断分野の6技術者資格は、実務経験が資格付与の要件を満足せず、不適合と判定された。

④ 自主学習システム専門委員会

更新登録に使用する建設一般4教材と専門技術22教材の自主学習教材について、改訂内容適否等の審査、チェックを行った。

b) CPD委員会

委員会は11回開催。

① CPD取得支援

協会会員のCPD取得支援として、分野横断的なテーマである法律・契約に関するセミナーの主催・配信を行った。Web講習配信の開始以降、視聴者数は増加が続き、CPD取得機会の創出・拡大に寄与している。

② CPD監査と監査結果の分析

令和6年度の監査は、令和5年度のCPD記録登録者200名(記録数3,626件)を対象に実施した。監査結果は削除相当が0.9%、修正相当が1.8%と記録の不備は僅かに残るが、システム等の改善に伴い指摘は低水準にあり、CPDシステムは適切に運用されている。

③ CPD制度改定の検討、CPD解説書改訂

コンサルタント技術者の資質向上を支援し、その活動を適正に認定するためCPD制度改定に着手した。教育分野・分類の多様化への対応、監査活動を通じた利用者のCPD登録の適正化を図るためCPD解説書(2025年4月第11版)を改正した。

④ 関連学協会との連携によるCPD活用

技術士(CPD認定)制度の開始、技術士に求められる資質能力(コンピテンシー)への「継続研さん」の追加などに対応すべく、関連学協会と連携を図り、協会会員のCPD活用を支援していく。

2. 次年度の活動について

新たな中期行動計画の施策「適正な資格制度の充実」や「自立した技術者の育成支援」などの実現に向けて、今年度の活動を拡充充実し継続実施する。なお、各委員会及び専門委員会活動の詳細は、8-6-1~8-6-5に示す。

(資格・CPD部会部会長 高橋 努)